

4 検査部門の外来検体版公開情報の帳票

JANIS 検査部門では、「入院検体」のみを集計対象として公開情報および還元情報を作成しているが、2017年に初めて外来検体の集計値で作成したアンチバイオグラムを「外来検体版年報試行版」として公開した。2018年以降は正式版として、継続して公開することを取り決めた。

2017年、2018年に関しては前述の通りアンチバイオグラムのみで作成しているが、入院検体版はアンチバイオグラムを含み7種類の帳票で作成している。外来検体版も、これにあわせ7種類の帳票を作成すべきか、今後の方針を決定したい。

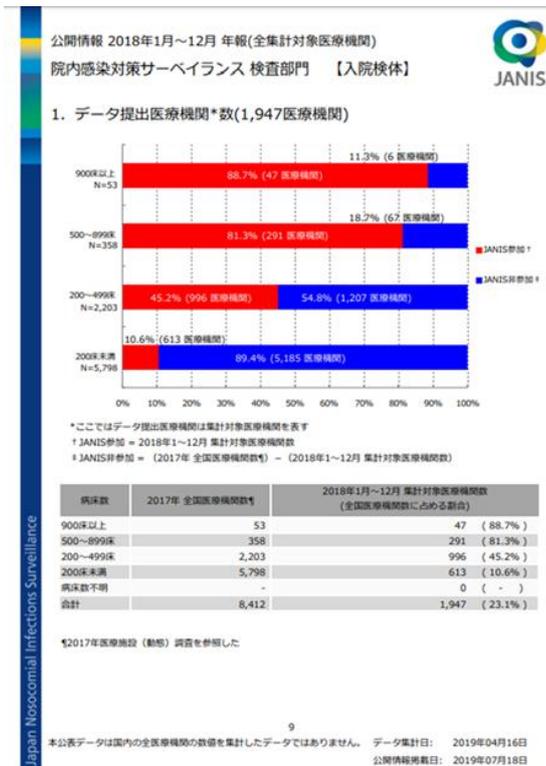
表 5. 現在の入院検体版年報と外来検体版年報の作成帳票対比

	1.データ提出医療機関数	2.データ提出医療機関数、検体数、分離患者数	3.検査材料別分離菌数割合	4.主要菌分離患者数と全医療機関の分離率分布	5.特定の耐性菌分離患者数と全医療機関の分離率分布	6.特定の耐性菌が分離された医療機関の割合	7.主要菌の抗菌薬感受性
外来検体							○
入院検体	○	○	○	○	○	○	○

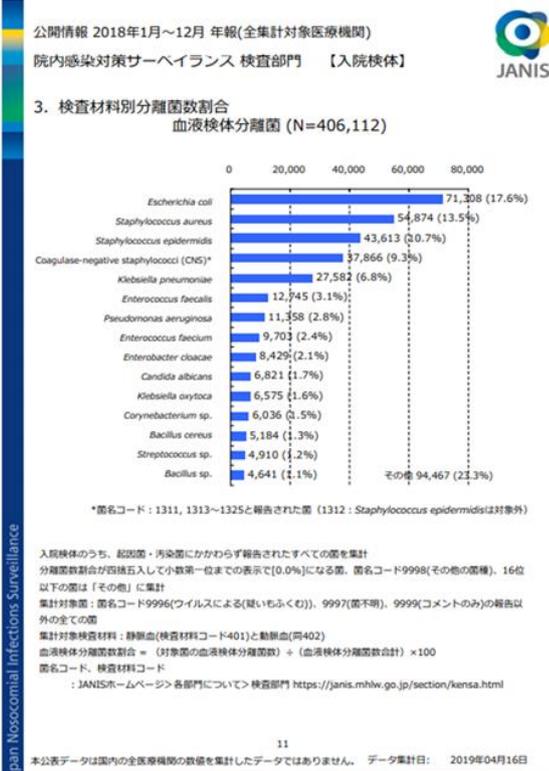
図 8. 検査部門公開情報年報

1.データ提出医療機関数

2.データ提出医療機関数、検体数、分離患者数



3.検査材料別分離菌数割合



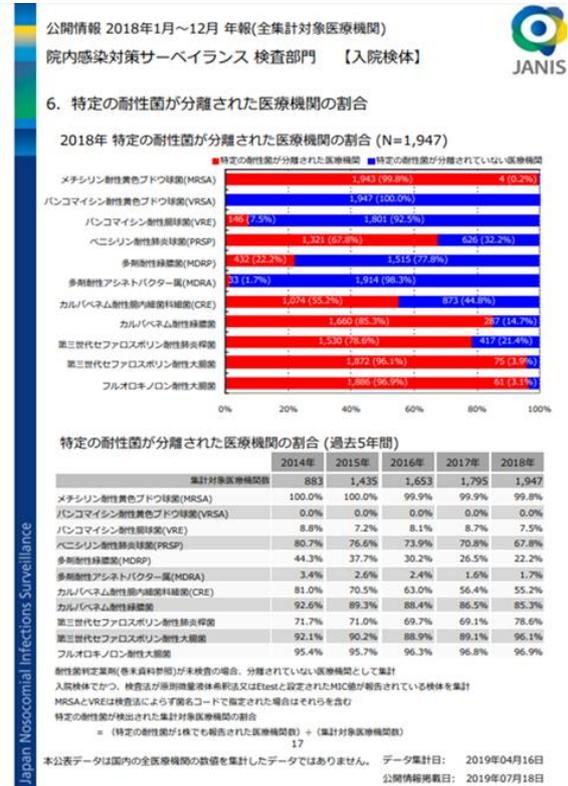
4.主要菌分離患者数と全医療機関の分離率分布



5.特定の耐性菌分離患者数と全医療機関の分離率分布



6.特定の耐性菌が分離された医療機関の割合



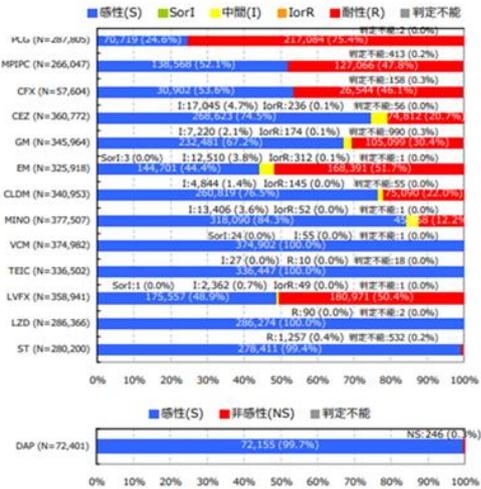
7. 主要菌の抗菌薬感受性

公開情報 2018年1月~12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 検査部門 【入院検体】



7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (ALL) †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtest設定されたMIC値が報告されている検体を集計
抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われてい
*S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2012 (M100-S22) に準拠
†菌名コード: 1301, 1303~1306と報告された菌
集計検数が30検未満の場合には、集計結果を公表しない

18
本公表データは国内の全医療機関の数を集計したデータではありません。 データ集計日: 2019年04月16日
公開情報掲載日: 2019年07月18日